

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 8 月 12 日(2022.8.12)

【公開番号】特開 2022-60462(P2022-60462A)
【公開日】令和 4 年 4 月 14 日(2022.4.14)
【年通号数】公開公報(特許)2022-067
【出願番号】特願 2022-26147(P2022-26147)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 6

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 3 日(2022.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域を備えた遊技盤と、前記遊技盤を収納した本体枠を備え、前記本体枠には前記遊技領域に遊技球を発射する発射装置と、前記遊技領域を流下し、前記遊技盤から排出された遊技球を回収し、再び前記発射装置の発射位置に搬送する搬送経路を備え、

遊技球の払い出しを行うことなく、所定数量の遊技球を循環させることで遊技を行うようにした遊技機であって、

30

前記搬送経路には、スクリー部によって遊技球を揚送する揚送装置を備え、前記揚送装置の近傍には球磨き部を備え、

前記揚送装置に設けられた開口部を通じて遊技球は前記球磨き部と接触し、揚送に伴う遊技球の移動により遊技球を磨くものであり、

前記球磨き部は、遊技球と接触する部位を変更可能に設けられ、

前記開口部を通じて前記球磨き部と接触する遊技球の移動方向は、前記球磨き部の幅方向の面積を有効に利用するべく前記球磨き部の幅方向に傾いており、

前記球磨き部は前記遊技機に対して着脱交換が可能である

ことを特徴とした遊技機。

【手続補正 2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、所定数量の遊技球を閉鎖的に循環させて遊技を行わせる封入球式の遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来技術の封入球式の遊技機として特許文献1のような遊技機がある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2013-081695号公報

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、特許文献1に記載の遊技機には、改良の余地がある。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明の課題は、従来の遊技機を改良した遊技機を提供することにある。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本願発明は、

「遊技球が流下する遊技領域を備えた遊技盤と、前記遊技盤を収納した本体枠を備え、
前記本体枠には前記遊技領域に遊技球を発射する発射装置と、前記遊技領域を流下し、前
記遊技盤から排出された遊技球を回収し、再び前記発射装置の発射位置に搬送する搬送経
路を備え、

遊技球の払い出しを行うことなく、所定数量の遊技球を循環させることで遊技を行うよう
にした遊技機であって、

前記搬送経路には、スクリー部によって遊技球を揚送する揚送装置を備え、前記揚送装
置の近傍には球磨き部を備え、

前記揚送装置に設けられた開口部を通じて遊技球は前記球磨き部と接触し、揚送に伴う遊
技球の移動により遊技球を磨くものであり、

前記球磨き部は、遊技球と接触する部位を変更可能に設けられ、

前記開口部を通じて前記球磨き部と接触する遊技球の移動方向は、前記球磨き部の幅方向
の面積を有効に利用するべく前記球磨き部の幅方向に傾いており、

10

20

30

40

50

前記球磨き部は前記遊技機に対して着脱交換が可能であることを特徴とした遊技機。」である。

また、本願発明とは異なる別の発明として以下の手段を参考的に開示する。

〔解決手段１〕に係る遊技機管理システムは、
所定数量の遊技球を閉鎖的に循環させて遊技を行わせる封入球式遊技機と、
前記封入球式遊技機と相互通信可能に接続された管理装置と、を含み、
前記封入球式遊技機は、
遊技領域が区画形成され、前記遊技領域を転動流下する遊技球が入球可能とされた複数の入賞口を備えた遊技盤と、
ホールに設置され、前記遊技盤が嵌め込まれて収納される本体枠と、
前記本体枠の前面に対して開閉可能に支持されると共に閉鎖した時に前記遊技盤の前記遊技領域が遊技者側へ臨む遊技窓を有した扉枠と、
前記本体枠に配置され、遊技者の操作に応じて前記遊技領域に向けて遊技球を発射する打球発射装置と、
前記遊技盤に備えられ、遊技制御を行う第１ＭＰＵを備え、前記入賞口への遊技球の受け入れに基づいて賞球信号を出力する第１制御基板と、
前記本体枠に備えられ、前記賞球信号に基づいて賞球制御を行う第２ＭＰＵを備えた第２制御基板と、
を備えたものであって、上記課題を解決するために、
前記第１ＭＰＵに、自己を認識させるための第１ＭＰＵの遊技機特定用ＩＤが格納され、
前記管理装置に、少なくとも個々の遊技機を識別するための遊技機特定用ＩＤと、前記遊技機特定用ＩＤに対応づけられて前記遊技盤が設置される前記ホールを識別するためのホール特定用ＩＤとが予め登録され、
電源投入時に、前記第２ＭＰＵは、前記管理装置に向けて遊技機特定用ＩＤの要求信号を送信し、
前記管理装置は、前記遊技機特定用ＩＤの要求信号を受信すると、前記ホール特定用ＩＤと対応付けされた前記遊技機特定用ＩＤを送信元の前記第２ＭＰＵに転送し、
前記第２ＭＰＵは、転送された前記遊技機特定用ＩＤを記憶登録し、記憶登録された前記遊技機特定用ＩＤに基づいて、前記第１ＭＰＵの遊技機特定用ＩＤが正規であるか否かを認証し、認証された場合は前記賞球制御を実行する一方、認証されない場合は前記賞球制御を実行しない、
ことを特徴とする。

10

20

30

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

本発明の封入球式の遊技機によれば、従来の遊技機を改良し、遊技に供される遊技球を効率よく磨くことができる遊技機を提供することが出来る。

40